

## 臨時会におけるご意見、ご質問に対するご回答

東京電力(株)柏崎刈羽原子力発電所

1. 「点検するためには人の手配が問題というような記事があった。そういうレベルの問題ではない。」 「仮に残りの10継ぎ手を点検とした場合に、どの程度の時間がかかるのか。」 とのご指摘、ご質問について

記事については、そのようなコメントが掲載されておりますが、これが主たる理由ではなく、一つ一つの点検を科学的合理的な「考え方」(いわゆる5年ルール)に基づき、計画的に、継続して、そして確実に実施していくことが、長期的な設備保守の信頼性を向上させていくものであるということの主たる理由としております。

「さらに申し上げれば」という趣旨で付言いたしましたものであり、高度に専門的な能力を必要とする検査員を当社の発電所更には他社のプラント点検全体の中で効果的に配置する必要があることを背景としております。

また、後段のご質問につきましては、4号機の場合は既に格納容器漏えい率検査を終了しており、仮に点検とした場合に要する期間は、単に検査員の手配という要素だけにはとどまらず、設備的な準備・段取りに相当の時間を要することとなります。

このように前提条件の置き方等個々の事情・状況によって点検に要する期間の想定が大幅に異なりますので、定量的なご回答はご容赦いただきたいと思います。

2. 「柏崎刈羽4号機の後に製造した女川2号、浜岡4号、志賀1号にひび割れがあったり、ひび割れ対策を講じている。なぜ柏崎刈羽4号だけがひび割れないのか理解できない。」 とのご質問について

これにつきましては、製造メーカーの違いによりシュラウド溶接部の表面仕上げが異なっており、日立製の表面の磨きが結果として応力腐食割れの抑制に寄与したものと考えられます。

- ・ 柏崎刈羽4号、志賀1号は日立製  
志賀1号もシュラウドにひびは確認されていない
- ・ 女川2号・浜岡4号は東芝製

以 上